

平成30年度 新たな広域連携促進事業 委託団体

応募団体名	関係市町村	圏域人口等	圏域面積等	委託事業・検討事業の概要
連携中枢都市圏形成等を目指す圏域における取組				
札幌市	【北海道】小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町(計7市3町1村)	2,600,875人 (うち札幌市 1,952,356人)	4,514.89km ²	連携中枢都市圏の形成に向け、人口や産業構造、都市機能の集積状況等を分析し、圏域の強みや弱みを明らかにするとともに、連携中枢都市圏ビジョン懇談会等を通じ、圏域の施策の方向性を検討する。 また、圏域形成後の連携事業の試行実施として、圏域の人口減少抑制の観点から人材流入促進事業、圏域の経済活性化の観点から広域的な地域ブランド事業を行うほか、北海道の特性を生かし、低炭素社会の構築に向けた水素サプライチェーン構築に関する調査・検討を実施する。
新潟市	【新潟県】三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町(計7市3町1村)	1,286,730人 (うち新潟市 810,157人)	3,793km ²	人口減少や少子高齢化が進行している中、将来にわたって持続可能な都市圏を形成していくため、都市圏内の公共交通ネットワークや公共施設等の状況をEBPMの観点から「見える化」し、メッシュ別将来推計人口データ等と併せて今後の公共交通ネットワークや公共施設等のあり方を検証した上で、各種計画等に反映する。
福山市	【広島県】三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町 【岡山県】笠岡市、井原市 (計5市2町)	857,212人 (うち福山市 464,811人)	2,509km ²	本圏域は、生活圏が県境を跨いでおり、救急医療等について県境を越えた流出入がある地域である。また、県庁所在地から遠く離れ、大学医学部がないこともあり、医療が地域の共通課題となっている。 そこで、県境を跨いだ圏域における安定した医療提供体制の確保に向けた課題の把握や解決策を検討をする。また、広域連携の高度化に向け産学官民での連携の検討を行う。
三大都市圏における水平的・相互補完的、双務的な役割分担の取組				
千葉市	【千葉県】市原市、茂原市、大網白里市、東金市 (計:4市)	1,446,062人 (うち千葉市 971,882人)	887.06km ²	「人を育てる」「人を呼び込む」「人をとどめる」をテーマに今後急速に進展する人口減少・少子高齢社会に対応するため、周辺都市との広域連携により、①圏域内産業の需要を支える産業人材の育成における連携②企業立地における連携③その他の行政サービスにおける連携に取り組む。